

春の企画展

箱根療養所にて

生涯を終えた

The National Sanatorium Hakone Hospital

戦傷病者

3.26 水 — 5.11 日

平成26(2014)年

[会場] しょうけい館1階

[休館日] 毎週月曜日(祝日は開館)

[開館時間] 10:00~17:30(入館は17:00まで)

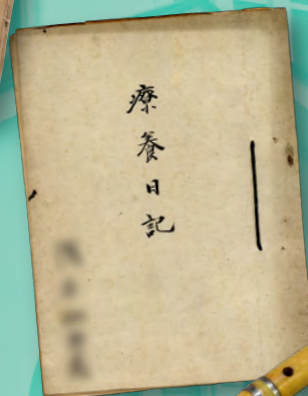
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア九段下
TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp



SHOKEI-KAN
しょうけい館
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers etc.



入館無料



春の企画展

箱根療養所にて 生涯を終えた戦傷病者

箱根療養所は、戦争により手足を失い生活困難な傷病兵を収容した国立の保護施設「癪兵院」が起源となります。後に「傷兵院」と改称され、東京から小田原市に移転しました。名称は、傷兵院の一面に脊髄損傷専門の「傷痍軍人箱根療養所」が併設されたことに始まります。戦後は一般にも開放され、国立箱根療養所の建て替えて、戦傷病者専用の施設として西病棟が設けられ、38名が入所しました。療養所は国立療養所箱根病院、独立行政法人国立病院機構箱根病院と改称され、戦傷病者は平成18年には3床まで減少して一般病棟へ収容され、西病棟は閉鎖されました。平成20年には戦傷病者そのものが不在となりました。

今回の企画展では、ご自宅に戻ることなく療養所で生涯を終えられた方々がどのような生活を過ごしてきたのか、箱根療養所の変遷を踏まえつつ、その一端を資料で紹介しながら、証言映像とともに戦傷病者が日々見続けていた書画類も紹介します。



証言映像

箱根療養所で療養していた戦傷病者の証言映像などをご紹介します。

- 「暖かい支援に支えられて」(9分55秒)
- 「受傷の労苦と葛藤を超えて」(9分45秒)
- 「療養所は大きな家族」(9分53秒)
- 「箱根療養所」(12分28秒)

学芸員による展示解説

学芸員が企画展の展示解説をします。

申込不要

日時：3/29(土)、4/19(土)、5/3(土)の
14時より約30分程度



四妃殿下の慰問(竹彫刻作業中)



機能回復の為の作業風景(戦中)



娯楽室の風景

当館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族等の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。



SHOKEIKAN
しょうけい館

戦傷病者史料館

Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア九段下
TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp



- 地下鉄をご利用の場合
「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)
 - 都営バスをご利用の場合
「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下～高田馬場駅))
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。